

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ぬくもり修学奨励資金支給事業				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	修学困難な生徒に対し修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として支給する。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費					
根拠条例等	宇陀市ぬくもり修学奨励資金支給要綱						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実						
H28年度事業の概要	市内に住所を有する者で、市民税非課税世帯である者に入学支度金を支給する。 (負担金、補助及び交付金) 大学 120,000円×3人 高等学校 60,000円×16人 専修学校 60,000円×1人 専門学校 120,000円×1人				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	修学困難な生徒に対し修学奨励を行うことにより、市の教育環境づくりが図れる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,500	
					H28予算額	1,500	
					H27当初予算額	1,500	
H27現計予算額	1,500						
増減額							
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	720	1,380					
従事職員数【人工】	0.03	0.03					
人件費(人工×8,000千円)	240	240					
総事業費:人件費含む(千円)	960	1,620					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	支給人数				備考		
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	10	単位	人	19		単位	人
単位当たりコスト (円)	96,000		85,263				
<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (13)子ども達の就学の経済的援助							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	学校安全安心メール配信システム運営事業																			
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																	
事業の目的	保育所・こども園・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡システムの運用を行う。 今後、研修会を重ね緊急時の対応などに正確且つ瞬時に情報伝達が行えるよう行政事務の改善を図る。				区分	No.	区分名															
					款	9	教育費															
					項	1	教育総務費															
					目	2	事務局費															
細目	1	本庁事務局費																				
根拠条例等																						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																					
H28年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">科 目</th> <th>予算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃金</td> <td>臨時職員賃金</td> <td>122千円</td> <td>820円×7時間×20日+7,100円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>機器使用料</td> <td>538千円</td> <td>44,820円×12ヶ月</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>660千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				科 目		予算額	備 考	賃金	臨時職員賃金	122千円	820円×7時間×20日+7,100円	使用料及び賃借料	機器使用料	538千円	44,820円×12ヶ月	合 計		660千円		財源の内訳 (単位:千円)	
	科 目		予算額	備 考																		
賃金	臨時職員賃金	122千円	820円×7時間×20日+7,100円																			
使用料及び賃借料	機器使用料	538千円	44,820円×12ヶ月																			
合 計		660千円																				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	保育所・こども園・幼稚園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援室の保護者を対象としたメール配信システムを構築し、各種学校等からの連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡システムを運用したことにより、情報伝達が正確且つ瞬時に伝達でき業務の改善につながった。 登録率 91.2%				分担金																	
					使用料																	
					国費																	
					県費																	
					市債																	
					その他																	
					一般財源	660																
H28予算額	660																					
H27当初予算額	660																					
H27現計予算額	660																					
増減額																						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況																			
決算額又は決算見込額(千円)	643	660																				
従事職員数【人工】	0.10	0.10																				
人件費(人工×8,000千円)	800	800																				
総事業費:人件費含む(千円)	1,443	1,460																				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																						
活動指標名	登録者数																					
活動指標の算式	保護者・関係者の数																					
活動指標の実績(見込)	2,958	単位	人	2,850	単位	人																
単位当たりコスト (円)	488		512																			
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (1)学校安心安全メール配信事業																					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	不登校児童生徒支援事業(適応指導教室“はばたき”)
------	----	-----	----------------------------------

所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-------	------------	-----------

事業の目的	宇陀市内小・中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。			区分	No.	区分名
	款	9	教育費	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費	細目	5	教育センター事業費

根拠条例等	宇陀市適応指導教室設置要領
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実

H28年度事業の概要	大宇陀地域事務所内の1室にて、毎週水曜日と金曜日(長期休業中は除く)に教室を運営している。指導員は、心理士2名で、相談業務も行っている。			財源の内訳 (単位:千円)															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>予算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃金</td> <td>4,284千円</td> <td>臨床心理士2,600円/h 週3日 認定心理士1,650円/h 週3日</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>629千円</td> <td>交通費</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60千円</td> <td>消耗品</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>4,973千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			科 目	予算額	備 考	賃金	4,284千円	臨床心理士2,600円/h 週3日 認定心理士1,650円/h 週3日	需用費	629千円	交通費		60千円	消耗品	合 計	4,973千円		分担金
科 目	予算額	備 考																	
賃金	4,284千円	臨床心理士2,600円/h 週3日 認定心理士1,650円/h 週3日																	
需用費	629千円	交通費																	
	60千円	消耗品																	
合 計	4,973千円																		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	26年度の正式通室者が3名で、通室日数は83日。通室延べ回数が186回であった。27年2学期には、学校復帰(支援を受ける場所が在籍校に移行)した生徒が1名おり、一時的に登校や行事への参加等出来る生徒が2名いる。今後は学校と連携し、関わりがもてない児童生徒に対しても働きかけができるようにしたい。			使用料															
	国 費		市 債																
	県 費		その他																
	一般財源	4,973	H28予算額	4,973															
			H27 当初予算額	2,560															
			H27 現計予算額	2,560															
			増減額	2,413															

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	2,167	2,560
従事職員数【人工】	0.20	0.20
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600
総事業費:人件費含む(千円)	3,767	4,160
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()		
活動指標名	相談回数・通室回数・学校訪問	
活動指標の算式	-	
活動指標の実績(見込)	186	150
単位当たりコスト (円)	20,253	27,733

特定財源の状況	
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	グローバル教育推進事業(サイエンスラボ・JAXA学校教育支援)
------	----	-----	---------------------------------

所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-------	------------	-----------

事業の目的	幼児、児童、生徒が科学(化学)への興味関心を高め、自然の事物・現象等についての理解を図り、科学(化学)的な見方や考え方を養う事を通して、学力向上に資する事を目的とする。			区分	No.	区分名
	款	9	教育費	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費	細目	5	教育センター事業費

根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実

H28年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>予算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費 消耗品</td> <td>80千円</td> <td>JAXA・サイエンス 6回</td> </tr> <tr> <td>負担金 講師派遣負担金</td> <td>235千円</td> <td>JAXA 48,560円×4回 サイエンス 2,000円×10人×2回</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>315千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		科 目	予算額	備 考	需用費 消耗品	80千円	JAXA・サイエンス 6回	負担金 講師派遣負担金	235千円	JAXA 48,560円×4回 サイエンス 2,000円×10人×2回	合 計	315千円		財源の内訳 (単位:千円)	
	科 目	予算額	備 考													
需用費 消耗品	80千円	JAXA・サイエンス 6回														
負担金 講師派遣負担金	235千円	JAXA 48,560円×4回 サイエンス 2,000円×10人×2回														
合 計	315千円															
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	平成27年度は、宇陀市子どもフェスタ2015において、奈良県立青翔中学校・高等学校の科学部員による2つの実験(「-196℃の世界」、「化学の光」)を実施した。当日は110名の幼児、小中学生、保護者が集まった。集まった子どもたちも一部の実験に参加し、科学に親しむことができた。夏期休業中には榛原中学校の科学部に対する出張授業(葉脈標本の製作)も実施した。また、JAXA学校支援事業については、小学校2校、こども園1園で要望に応じた宇宙に関する学習等を実施した。これらの事業を通して、宇陀市内の幼児、児童・生徒の科学や宇宙についての興味・関心を高めることができた。		分担金													
			使用料													
			国 費													
			県 費													
			市 債													
			その他													
			一般財源	315												
			H28予算額	315												
			H27 当初予算額	315												
			H27 現計予算額	315												
			増減額													

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	171	315
従事職員数【人工】	0.05	0.05
人件費(人工×8,000千円)	400	400
総事業費:人件費含む(千円)	571	715

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()						
活動指標名	実施回数					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績(見込)	5	単位	回	5	単位	回
単位当たりコスト (円)	114,200			143,000		

特定財源の状況	
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	外国語教育推進事業(英語スピーチコンテスト)																	
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算															
事業の目的	宇陀市内各学校で行われている外国語活動や英語学習の成果を発表し交流することを通して、更に興味を持って取り組もうとする国際性豊かな児童・生徒を育成することを目的とする。				区分	No.	区分名													
					款	9	教育費													
					項	1	教育総務費													
					目	2	事務局費													
					細目	5	教育センター事業費													
根拠条例等	宇陀市教育センター事業実施要綱																			
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																			
H28年度事業の概要	第4回宇陀市英語スピーチコンテスト(小中高英語活動発表会)を実施する。				財源の内訳 (単位:千円)															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>予算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>66千円</td> <td>トロフィー</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>5千円</td> <td>賞状用紙他</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>6千円</td> <td>旅費負担金</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>77千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				科 目	予算額	備 考	報償費	66千円	トロフィー	需用費	5千円	賞状用紙他	負担金	6千円	旅費負担金	合 計	77千円		分担金
科 目	予算額	備 考																		
報償費	66千円	トロフィー																		
需用費	5千円	賞状用紙他																		
負担金	6千円	旅費負担金																		
合 計	77千円																			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	平成27年度の参加者は43名(小学生19名・中学生20名・高校生4名)の参加があった(24年度31名・25年度26名・26年度45名)。中学生・高校生によるスピーチは教科書等からの題材を暗唱したり自作のスピーチを使い発表。グループでのスキットもそれぞれが工夫を凝らし楽しいものを作り上げていた。小学生も日頃の授業で作成した写真や絵を使い、ジェスチャーに表すなど自分の好きな物や行きたい国などについての発表があった。ゲストスピーチや高校生によるプレゼンテーションも行われた。ほとんどの生徒が「とても楽しかった。また参加したい」と感じている。これからの社会は英語が必要等の理由で強く継続を望む保護者も多い。小中学校での英語学習の成果を発表し、交流することで更に興味を持ち学習意欲に繋げていく。				使用料															
					国 費															
					県 費															
					市 債															
					その他															
					一般財源	77														
					H28予算額	77														
					H27 当初予算額	77														
H27 現計予算額	77																			
増減額																				
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況																
決算額又は決算見込額(千円)	64	77																		
従事職員数【人工】	0.05	0.05																		
人件費(人工×8,000千円)	400	400																		
総事業費:人件費含む(千円)	464	477																		
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																				
活動指標名	参加者数																			
活動指標の算式	-																			
活動指標の実績(見込)	45	単位	人	43	単位	人														
単位当たりコスト (円)	10,311		11,093		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進														

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	児童・生徒のカウンセリング事業「スクールカウンセラー設置」
------	----	-----	--------------------------------------

所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)	宇陀市一般会計予算	
-----	-----	-------	------------	-----------	--

事業の目的	市立小学校及び中学校にスクールカウンセラーを設置し、いじめ、不登校等の未然防止・解決を図ると共に、児童生徒の問題行動に的確に対応することを目的とする。児童生徒、保護者の心の相談にあたるとともに、教職員のカウンセリングマインドを高め、問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決に役立てる。			区分	No.	区分名
	款	9	教育費	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費	細目	6	スクールカウンセラー設置事業(インセンティブ事業)

根拠条例等	宇陀市スクールカウンセラー設置要綱
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実

H28年度事業の概要	市立小学校及び中学校にスクールカウンセラーを設置			財源の内訳 (単位:千円)													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>予算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃金</td> <td>2,709千円</td> <td>スクールカウンセラー賃金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>230千円</td> <td>スクールカウンセラー交通費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>170千円</td> <td>発送検査用紙他</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,109千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	科 目	予算額	備 考	賃金	2,709千円	スクールカウンセラー賃金		230千円	スクールカウンセラー交通費	需用費	170千円	発送検査用紙他	合 計	3,109千円		分担金
科 目	予算額	備 考															
賃金	2,709千円	スクールカウンセラー賃金															
	230千円	スクールカウンセラー交通費															
需用費	170千円	発送検査用紙他															
合 計	3,109千円																
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	平成26年度のスクールカウンセラーの派遣日数は137日(915時間)であった。 県費スクールカウンセラーを配置していない小学校7校に、週3回派遣しているが、必要に応じて要望があれば中学校にも派遣しており、需要が大きい。 適応指導教室はばたきや通級指導教室ほほえみ及び教育相談の相談員、指導主事及び事務員が集まり、毎月情報交換を行い、共通理解し連携が図れた。			使用料													
				国 費													
				県 費													
				市 債													
				その他													
				一般財源	3,109												
				H28予算額	3,109												
			H27 当初予算額	2,746													
			H27 現計予算額	2,746													
			増減額	363													

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	3,050	2,746
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	3,850	3,546

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・(総合戦略・その他)					
活動指標名	派遣日数				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績(見込)	137	単位	回	128	単位 回
単位当たりコスト (円)	28,102		27,703		

特定財源の状況	
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	言語力育成支援事業「通級指導教室”ほほえみ”」
------	----	-----	-------------------------

所管課	606	教育総務課 (教育委員会事務局)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	------------------	-----------

事業の目的	①通常の学級に在籍している子ども達の中で、ことばやコミュニケーション、社会性に困難を抱えている子どもに応じた教育課程のもと支援を行う。 ②ことばやコミュニケーション、社会性に困難を抱えている児童に、適切で専門的な指導(保護者や教職員に対しても)を行うことにより、その子の本来持っている力を十分に発揮し、生き生きとして社会生活を送れるように支援する。		区分 No.	区分名
	款	9	教育費	
	項	2	小学校費	
	目	1	学校管理費	
	細目	12	通級指導教室費	

根拠条例等	学校教育法施行規則第140条、宇陀市通級指導教室設置要領
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実

H28年度事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>予算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃金</td> <td>1,698千円</td> <td>2,450円×15.75時間×4週×11ヶ月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>264千円</td> <td>交通費</td> </tr> <tr> <td></td> <td>147千円</td> <td>検査用紙他</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">需用費</td> <td>16千円</td> <td>ほほえみ教室灯油代</td> </tr> <tr> <td>100千円</td> <td>通級指導教室修理費用</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>84千円</td> <td>電話ネット通信料金</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>200千円</td> <td>ほほえみ教室備品代</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>8千円</td> <td>研究会費他</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,517千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		科 目	予算額	備 考	賃金	1,698千円	2,450円×15.75時間×4週×11ヶ月		264千円	交通費		147千円	検査用紙他	需用費	16千円	ほほえみ教室灯油代	100千円	通級指導教室修理費用	役員費	84千円	電話ネット通信料金	備品購入費	200千円	ほほえみ教室備品代	負担金	8千円	研究会費他	合 計	2,517千円		財源の内訳 (単位:千円)	
	科 目	予算額	備 考																														
賃金	1,698千円	2,450円×15.75時間×4週×11ヶ月																															
	264千円	交通費																															
	147千円	検査用紙他																															
需用費	16千円	ほほえみ教室灯油代																															
	100千円	通級指導教室修理費用																															
役員費	84千円	電話ネット通信料金																															
備品購入費	200千円	ほほえみ教室備品代																															
負担金	8千円	研究会費他																															
合 計	2,517千円																																
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	保護者や教職員から宇陀市に教室があって良かった、指導内容も子どもに合っており子どもが成長したとの声がある。小学校教諭もアドバイスを受けることで、より適切な指導が可能となり教室でも成長を感じているとの声がある。しかし、年々通級児童が増加し、指導時数が増え、また他校通級は放課後に集中し、曜日の希望も重なっているため指導時間の確保が難しい。 今後は、対象児童の教室に出向き観察することで教職員へのアドバイスや情報共有ができるので、このまま継続して運営を行い、さまざまなニーズの子どもたちへの教育支援を保障していきたい。		分担金																														
	使用料																																
	国 費																																
	県 費																																
	市 債																																
	その他																																
	一般財源		2,517																														
	H28予算額		2,517																														
H27 当初予算額		3,069																															
H27 現計予算額		3,069																															
増減額		▲ 552																															

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	465	3,069
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	1,265	3,869

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()					
活動指標名	相談回数				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績(見込)	393	単位	回	766	単位 回
単位当たりコスト (円)	3,219			5,051	

特定財源の状況	
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	就学援助事業(小学校)																																				
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																																		
事業の目的	経済的な理由によって就学困難と認められる児童の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。				区分	No.	区分名																																
					款	9	教育費																																
					項	2	小学校費																																
					目	2	教育振興費																																
細目	1	本庁小学校教育振興費																																					
根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱																																						
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																																						
H28年度事業の概要	経済的理由によって就学が困難な生徒の解消				財源の内訳 (単位:千円)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予算額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育就学奨励費</td> <td>1,491千円</td> <td>給食費・校外学習費・学用品費等</td> </tr> <tr> <td>要保護児童就学援助費</td> <td>33千円</td> <td>修学旅行費等</td> </tr> <tr> <td>準要保護児童就学援助費</td> <td>6,809千円</td> <td>給食費・校外学習費・学用品・医療費等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,333千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	予算額	備考	特別支援教育就学奨励費	1,491千円	給食費・校外学習費・学用品費等	要保護児童就学援助費	33千円	修学旅行費等	準要保護児童就学援助費	6,809千円	給食費・校外学習費・学用品・医療費等	合計	8,333千円		<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>528</td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>7,805</td></tr> <tr><td>H28予算額</td><td>8,333</td></tr> <tr><td>H27当初予算額</td><td>8,255</td></tr> <tr><td>H27現計予算額</td><td>8,255</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>78</td></tr> </table>		分担金		使用料		国費	528	県費		市債		その他		一般財源	7,805	H28予算額	8,333	H27当初予算額	8,255	H27現計予算額	8,255	増減額
項目	予算額	備考																																					
特別支援教育就学奨励費	1,491千円	給食費・校外学習費・学用品費等																																					
要保護児童就学援助費	33千円	修学旅行費等																																					
準要保護児童就学援助費	6,809千円	給食費・校外学習費・学用品・医療費等																																					
合計	8,333千円																																						
分担金																																							
使用料																																							
国費	528																																						
県費																																							
市債																																							
その他																																							
一般財源	7,805																																						
H28予算額	8,333																																						
H27当初予算額	8,255																																						
H27現計予算額	8,255																																						
増減額	78																																						
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	就学援助費を支給することによって、経済的負担を軽減し、児童の就学を支援し、安心して豊かな教育環境を整備する。																																						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況																																			
決算額又は決算見込額(千円)	7,565	8,255		特別支援教育就学奨励費補助金 521千円 要保護児童援助費補助金 7千円																																			
従事職員数【人工】	0.10	0.10																																					
人件費(人工×8,000千円)	800	800																																					
総事業費:人件費含む(千円)	8,365	9,055																																					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																																							
活動指標名	支給人数																																						
活動指標の算式	-																																						
活動指標の実績(見込)	106	単位	人	106	単位																																		
単位当たりコスト(円)	78,915			85,425																																			
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (13)子ども達の就学の経済的支援																																						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	就学援助事業(中学校)																		
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																
事業の目的	経済的な理由によって就学困難と認められる生徒の保護者に必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。				区分	No.	区分名														
					款	9	教育費														
					項	3	中学校費														
					目	2	教育振興費														
細目	1	本庁中学校教育振興費																			
根拠条例等	宇陀市就学援助に関する要綱																				
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実																				
H28年度事業の概要	経済的理由によって就学が困難な生徒の解消 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予算額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育就学奨励費</td> <td>990千円</td> <td>給食費・校外学習費・学用品費等</td> </tr> <tr> <td>要保護児童就学援助費</td> <td>68千円</td> <td>修学旅行費等</td> </tr> <tr> <td>準要保護児童就学援助費</td> <td>7,452千円</td> <td>給食費・校外学習費・学用品日・医療費等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,510千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	予算額	備考	特別支援教育就学奨励費	990千円	給食費・校外学習費・学用品費等	要保護児童就学援助費	68千円	修学旅行費等	準要保護児童就学援助費	7,452千円	給食費・校外学習費・学用品日・医療費等	合計	8,510千円		財源の内訳 (単位:千円)	
	項目	予算額	備考																		
特別支援教育就学奨励費	990千円	給食費・校外学習費・学用品費等																			
要保護児童就学援助費	68千円	修学旅行費等																			
準要保護児童就学援助費	7,452千円	給食費・校外学習費・学用品日・医療費等																			
合計	8,510千円																				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	就学援助費を支給することによって、経済的負担を軽減し、生徒の就学を支援し、安心して豊かな教育環境を整備する。				分担金																
					使用料																
					国費	365															
					県費																
					市債																
					その他																
					一般財源	8,145															
					H28予算額	8,510															
H27当初予算額	8,468																				
H27現計予算額	8,468																				
増減額	42																				
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況																		
決算額又は決算見込額(千円)	7,527	8,468	特別支援教育就学奨励費補助金 346千円																		
従事職員数【人工】	0.10	0.10	要保護生徒援助費補助金 19千円																		
人件費(人工×8,000千円)	800	800																			
総事業費:人件費含む(千円)	8,327	9,268																			
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																					
活動指標名	支給人数																				
活動指標の算式	-																				
活動指標の実績(見込)	77	単位	人	82	単位	人															
単位当たりコスト(円)	108,143		113,024																		
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (13)子ども達の就学の経済的支援																				

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	外国青年招致事業					
所管課	606	教育総務課	(教育委員会事務局)					
市内4中学校にALTを配置し、英語教育の普及を図り、国際的視野を高める。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	9	教育費	
					項	3	中学校費	
					目	3	外国青年招致事業費	
細目	1	外国青年招致事業費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第4章 第3節 教育環境の整備・充実							
H28年度事業の概要	財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国人青年招致事業(JETプログラム)」から派遣されたALT(2人)を市内4中学校に配置する。				財源の内訳 (単位:千円)			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	授業でネイティブスピーカーを活用することにより、外国語教育が充実している。				分担金			
					使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	8,840		
					H28予算額	8,840		
					H27当初予算額	9,113		
					H27現計予算額	9,113		
増減額	▲ 273							
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	7,738	8,510						
従事職員数【人工】	0.20	0.20						
人件費(人工×8,000千円)	1,600	1,600						
総事業費:人件費含む(千円)	9,338	10,110						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名	配置人数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績(見込)	2	単位	名	2	単位	名		
単位当たりコスト (円)	4,669,000		5,055,000					
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.こども未来創造プロジェクト (17)学校教育における児童生徒の学習意欲の増進							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	指定文化財保存修理等助成事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市内全域の国・県市指定文化財の保護事業として保存修理、設備点検環境整備事業等の実施した団体に補助金の交付を行い指定文化財の保護を行う。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費					
根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H28年度事業の概要	指定文化財所有者(16件)の防災設備点検等建造物保存修理、環境整備等の経費軽減を図る。 補助金(16件) 4,100,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	〔文化財補助金〕 文化財の管理、修理、復旧、公開、調査、その他文化財の保存及び防犯上緊急の措置を講じる為の経費(国費・県費を控除した額)を補助し、歴史的価値の高い指定文化財施設の保護ができる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	4,100	
					H28予算額	4,100	
					H27当初予算額	3,500	
H27現計予算額	3,500						
増減額	600						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	1,056	3,500					
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800	800					
総事業費:人件費含む(千円)	1,856	4,300					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	事業実施指定文化財率						
活動指標の算式	補助文化財数/保護文化財数						
活動指標の実績(見込)	106.7	単位 %	133.3	単位 %	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備		
単位当たりコスト (円)	17,395		32,258				

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定重要文化財片岡家住宅文書公開事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	国指定重要文化財の片岡家住宅に伝わる文書(史料)類は、室町時代・江戸時代の当該地域の歴史を考えるうえにおいて、重要な史料であることが判明し、平成24年度から平成27年度の4年間に、文書数約1万3千点の詳細な調査を実施し、調査報告書の刊行も行うことが出来た。調査の成果を、宇陀市民に公表及び展示しその重要性を広く啓発を行う。				区分 No.	区分名	
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費					
根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H28年度事業の概要	平成27年度末に調査が完了した調査報告書を基に、文書の展示や文書調査にご尽力いただいた文書調査指導委員による講演会の開催を実施する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	約13,000点の文書調査を4ヶ年かけて実施し、調査報告書も刊行できたため、市民へ最終報告の講演会等を開催する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	248	
					H28予算額	248	
					H27当初予算額	3,013	
					H27現計予算額		
					増減額	▲ 2,765	
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	3,002	3,013					
従事職員数【人工】	0.05	0.05					
人件費(人工×8,000千円)	400	400					
総事業費:人件費含む(千円)	3,402	3,413					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	進捗率						
活動指標の算式	整理済文書数/全体文書数						
活動指標の実績(見込)	25.0	単位 %	25.0	単位 %	備考		
単位当たりコスト (円)	136,080		136,520				
<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資源の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	民俗文化財伝承事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	県・市指定文化財の伝承活動に対して、補助金交付を行う。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	1	本庁文化財保護費					
根拠条例等	宇陀市文化財保護条例、宇陀市文化財保存事業費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H28年度事業の概要	各地域の歴史、風土の中で育まれた伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存又は後継者育成を担っている団体に、活動補助金を交付する。 補助金 180,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	文化財愛護団体(6団体)への活動補助金により伝承事業が継続されている。 〔市指定文化財〕 「大野のいさめ踊り」 「田口水分神社の獅子舞」 〔県指定文化財〕 「野依のオンダ」 「平尾のオンダ」 「室生の獅子神楽」 「龍口の獅子舞」				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	180	
					H28予算額	180	
					H27当初予算額	180	
					H27現計予算額	180	
					増減額		
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	120	180					
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800	800					
総事業費:人件費含む(千円)	920	980					
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	事業実施指定文化財率						
活動指標の算式	補助文化財数/保護文化財数						
活動指標の実績(見込)	66.7	単位	%	100.0	単位	%	
単位当たりコスト (円)	13,793		9,800				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定天然記念物向淵スズラン群落再生事業									
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算							
事業の目的	室生向淵にあるスズランの自生群落は、自生の南限地として国の天然記念物に指定されている。 天然記念物保存管理計画に基づき管理目標を定めて観察と管理を行うとともに、一般来訪者に公開し豊かな自然を体験してもらう。				区分	No.	区分名					
					款	9	教育費					
					項	5	社会教育費					
					目	4	文化財保護費					
細目	3	天然記念物保存事業費										
根拠条例等	文化財保護法											
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用											
H28年度事業の概要	平成28年度は、向淵スズラン群落再生事業指導委員会の指導のもとに、文化庁文化財調査官の現地指導、スズラン現状調査、増殖試験等の事業を実施する。 (千円) <table border="1"> <tr><td>報償費</td><td>28</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>43</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>638</td></tr> </table>				報償費	28	旅費	43	委託料	638	財源の内訳 (単位:千円)	
					報償費	28						
旅費	43											
委託料	638											
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	国指定の天然記念物向淵スズラン群落を管理することにより、指定理由である自生の南限としての価値を維持すると共に、一般に広く公開することにより市の活性化に資することを目標とする。 天然記念物に指定された当時(昭和5年11月)には約3万㎡の指定地に、密生した場所でも1㎡あたり平均45株しかなかった。 平成8・9年度の減少原因調査では、指定地内での生育量が約5,500株であることが明らかとなった。 平成21年度からはスズラン群落の状況調査等を継続して実施しており、平成26年調査では、「タヌキヤブ地区」で247㎡の中に約38,500株が生育し、生育密度は「オクシバ」地区で約155株/㎡と増加してきている。 このように個体数及び密度は増加傾向にあるものの、外来種である「ドイツスズラン」の混在が確認された場合は、その都度、除去し、固有種の確保を行っている。				分担金							
					使用料							
					国費							
					県費							
					市債							
					その他							
					一般財源	709						
H28予算額	709											
H27当初予算額	709											
H27現計予算額	709											
増減額												
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況								
決算額又は決算見込額(千円)	708	709										
従事職員数【人工】	0.10	0.10										
人件費(人工×8,000千円)	800	800										
総事業費:人件費含む(千円)	1,508	1,509										
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()												
活動指標名	スズラン自生率											
活動指標の算式	現状自生株数/計画自生株数											
活動指標の実績(見込)	89.2	単位	%	91.1	単位	%						
単位当たりコスト(円)	16,906		16,564		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的・文化的資源の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定特別天然記念物オオサンショウウオ保護事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市内にもオオサンショウウオが棲息しており、現在までのところ、室生ダムより下流の宇陀川、室生川、大野川、深谷川、滝谷川、阿清水川、内牧川などで棲息が確認されている。 平成24年度からは、三重県教育委員会・奈良県教育委員会が策定した「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針」に基づき、保護調査を実施している。 オオサンショウウオの状況を記録した台帳を作成し、マイクロチップを挿入、DNA鑑定後、日本産であれば、再び元の河川に放流し、固有種の存続に努める。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	3	天然記念物保存事業費					
根拠条例等	文化財保護法						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H28年度事業の概要	オオサンショウウオの棲息が確認されている室生ダムより下流の宇陀川、室生川、大野川、深谷川、滝谷川、阿清水川、内牧川を中心として計画的に保護調査(分布調査・生息生育調査)を実施する。 DNA鑑定後、日本産であれば、再び元の河川に放流し、中国産・雑種である場合は、一時保護を行い、河川には放流しないこととする。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	宇陀市内の特別天然記念物オオサンショウウオ(日本産)の保護を行うとともに、各調査個体の基礎資料の蓄積を図り、市民等に市内の河川に特別天然記念物オオサンショウウオ(日本産)が棲息することを周知し、保護活動を市民レベルとなるよう誘導する。 計画的に保護調査を実施することにより、宇陀市内のオオサンショウウオの棲息状況が明らかとなり、中国産・雑種のオオサンショウウオを別施設で一時保護するとともに、日本産のオオサンショウウオの保護対策を講じる。 宇陀市内では、これまでに約160個体のオオサンショウウオを確認しており、今後の調査により、さらにその個体数は増加するものと思われる。				使用料		
					国費	1,000	
					県費	300	
					市債		
					その他		
					一般財源	718	
					H28予算額	2,018	
					H27 当初予算額	2,060	
					H27 現計予算額	2,060	
					増減額	▲ 42	
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		2,060	天然記念物調査再生事業費補助金(国) 1,000千円				
従事職員数【人工】		0.30	天然記念物調査再生事業費補助金(県) 300千円				
人件費(人工×8,000千円)		2,400					
総事業費:人件費含む(千円)		4,460					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	オオサンショウウオ固有種率						
活動指標の算式	固有種数/保護個体数						
活動指標の実績(見込)		単位	100	単位	%		
単位当たりコスト(円)			44,600				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的・文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備						

事業区分	新規	事業名	国指定天然記念物 カザグルマ自生地再生事業													
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算											
事業の目的	平成21年度の天然記念物カザグルマ自生地再生事業終了以降は、個体観察と管理作業を行ってきたが、指定地内の樹木が繁茂してきたため、カザグルマの植勢の衰退が確認され、今後の影響が懸念される為、その植勢回復と適正な植生管理を行う。				区分	No.	区分名									
					款	9	教育費									
					項	5	社会教育費									
					目	4	文化財保護費									
細目	3	天然記念物保存事業費														
根拠条例等	文化財保護法															
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用															
H28年度事業の概要	カザグルマの生育を阻害している樹木の枝払いや伐採を行う。また、カザグルマ個体群のモニタリング調査を実施し、これまでの事業内容の点検と改善を実施する。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">(千円)</td></tr> <tr><td>報償費</td><td style="text-align: right;">28</td></tr> <tr><td>旅費</td><td style="text-align: right;">86</td></tr> <tr><td>需用費</td><td style="text-align: right;">12</td></tr> <tr><td>委託料</td><td style="text-align: right;">1,892</td></tr> </table>				(千円)		報償費	28	旅費	86	需用費	12	委託料	1,892	財源の内訳 (単位:千円)	
					(千円)											
報償費	28															
旅費	86															
需用費	12															
委託料	1,892															
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	平成9・10年度に策定した「カザグルマ自生地保存管理計画」に基づき、平成11年度から15年度に保護増殖事業、平成16年度から21年度に再生事業を行い、カザグルマの植勢回復と増殖等を行ってきた。 その後、カザグルマの個体観察を行ってきたが、指定地内の樹木が繁茂してきたため、適正な植生管理を行う必要性が生じてきている。 このため、「保存管理計画」を基にして、今後当該地のカザグルマ個体数が安定して存続するよう生育環境を改善し、植勢の回復と増殖を図ると共に、安定した植生管理を行う。				分担金											
					使用料											
					国費	1,000										
					県費	300										
					市債											
					その他											
					一般財源	718										
H28予算額	2,018															
H27当初予算額																
H27現計予算額																
増減額	2,018															
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況													
決算額又は決算見込額(千円)			天然記念物調査再生事業費補助金(国) 1,000千円													
従事職員数【人工】			天然記念物調査再生事業費補助金(県) 300千円													
人件費(人工×8,000千円)																
総事業費:人件費含む(千円)																
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																
活動指標名																
活動指標の算式																
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考											
単位当たりコスト (円)																
<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的・文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備																

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業																	
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算															
事業の目的	宇陀市松山重伝建地区の歴史的町並みの特性を回復、維持するため、重伝建審議会においてその方策を検討し、伝建地区内の重要な構成要素である伝統的建造物(伝建物)の「修理」、及びそれ以外の建造物(非伝建物)の「修景」に対して補助金の交付を行う。修理と修景を共に推進することにより、町並みの価値を維持し、高めることを目的とし、併せて地区内に暮らす人の命と文化財的価値を守るため防災施設等の整備を行い、これらをもって市民が誇りと愛着をもったまちづくりの実行に資することを目的とする。				区分	No.	区分名													
					款	9	教育費													
					項	5	社会教育費													
					目	4	文化財保護費													
細目	21	まちなみ保存整備事業費																		
根拠条例等	文化財保護法、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱																			
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用																			
H28年度事業の概要	平成28年度においては、「修理」に対する補助7件と保存地区防災計画策定業務等の事業を実施する。 また、重伝建選定10周年を記念して記念誌の発行を行う。 (千円) <table border="1"> <tr><td>報酬</td><td>167</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>177</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>1,569</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>84</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>4,342</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>10</td></tr> <tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>19,785</td></tr> </table>				報酬	167	旅費	177	需用費	1,569	役務費	84	委託料	4,342	使用料及び賃借料	10	負担金、補助及び交付金	19,785	財源の内訳 (単位:千円)	
					報酬	167														
旅費	177																			
需用費	1,569																			
役務費	84																			
委託料	4,342																			
使用料及び賃借料	10																			
負担金、補助及び交付金	19,785																			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)は、奈良県下の3ヶ所のうちのひとつであり、昭和戦前に建築された建築物が数多く残り、「商家町」としての貴重な歴史的景観を形成している。 この歴史的景観を後世に引き継ぐとともに、宇陀松山城跡と伝建地区を一体的に捉えて整備することにより、当該地域のみならず宇陀市の活性化に資することを目的とする。 建物が再生される過程を見た施主や周囲の住民からの評判も良く、修理相談件数も年々増加している状況にある。 また、上欄の事業概要のほかにも、折に触れて先進地研修やまちづくり講座等を開催して住民への啓発活動を行っているため、本事業に対する住民の理解は高い。				分担金															
					使用料															
					国費	12,112														
					県費	2,422														
					市債															
					その他	814														
					一般財源	10,786														
					H28予算額	26,134														
					H27当初予算額	37,705														
					H27現計予算額	37,705														
増減額	▲ 11,571																			
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況																	
決算額又は決算見込額(千円)	43,898	37,705	重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金(国) 12,112千円 重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金(県) 2,422千円 社会教育費雑入 814千円																	
従事職員数【人工】	1.00	1.00																		
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000																		
総事業費:人件費含む(千円)	51,898	45,705																		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																				
活動指標名	事業実施率																			
活動指標の算式	単年度事業実施件数/単年度計画件数																			
活動指標の実績(見込)	128.6	単位	%	86.7	単位	%														
単位当たりコスト(円)	403,561		527,163																	
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的・文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備																			

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	町家公開活用施設整備事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	国道赤砂利交差点から松山地区への入口に位置する町家を活用し、宇陀松山城跡・松山伝建地区の情報を一覧できる機能を備えた観光の拠点施設を整備する。 道の駅から見える範囲に歴史的建造物を見せて街並みの存在を知らせる事が出来、来館者には伝建地区を始め宇陀松山城跡への誘導が可能となる。散策前の予備知識を得られ、休息なども可能な事から、来訪者への便宜を図る事ができる。来訪者への満足度を高め、リピーター獲得への期待ができる。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	21	まちなみ保存整備事業費					
根拠条例等	文化財保護法、宇陀市松山地区伝統的建造物群保存地区保存条例						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H28年度事業の概要	平成28年度は町家の改修工事実施設計を行う。 委託費 3,791千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し) ・地元業者の工事による仕事の創出 ・NPO等による指定管理業務の創出 ・来訪者の増加 町家はつし2階建てであることから、1階部分を来訪者への情報掲示スペース及び休憩スペースに、また1階奥及び2階部分をボランティアなどの詰所等に活用することにより、来訪者へのサービスの向上と市内NPOや団体の活性化を図る事ができる。				分担金		
使用料							
国費					1,895		
県費					379		
市債					1,400		
その他							
一般財源					117		
H28予算額					3,791		
H27当初予算額	3,618						
H27現計予算額	3,618						
増減額	173						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	6,635		重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金(国) 1,895千円				
従事職員数【人工】	0.20		重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金(県) 379千円				
人件費(人工×8,000千円)	1,600		合併特例債 1,400千円				
総事業費:人件費含む(千円)	8,235						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	進捗率						
活動指標の算式	各年度事業費/全体事業費						
活動指標の実績(見込)	22	単位	%	単位	備考		
単位当たりコスト (円)	374,318						
<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的・文化的資源の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定史跡宇陀松山城跡保存整備事業																									
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算																							
事業の目的	平成18年7月に国の史跡指定を受けた「宇陀松山城跡」は、中世の秋山氏の築城に始まり、豊臣政権下では大和郡山城、高取城と並んで大和支配の拠点とされてきた。 城跡は近世初頭の城割りと呼ばれる廃城とその時期や内容が一体として把握できる非常に希な事例である。 この城跡を保存すると共に、宇陀市に存する貴重な歴史遺産として来訪者に公開するため城跡へのアクセス道路を新設し、もって当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とすることを目的とする。				区分	No.	区分名																					
					款	9	教育費																					
					項	5	社会教育費																					
					目	4	文化財保護費																					
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業																										
根拠条例等	文化財保護法																											
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用																											
H28年度事業の概要	平成28年度事業 ①松山城跡整備工事(天守郭・本丸の盛土工事、工事に伴う立木補償等)の実施及び発掘調査成果の整理作業 ②松山城跡維持管理業務			(千円) <table border="1"> <tr><td>共済費</td><td>2</td></tr> <tr><td>賃金</td><td>380</td></tr> <tr><td>報償費</td><td>49</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>61</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>87</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>42</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>2,094</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>23</td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td>7,344</td></tr> <tr><td>補償</td><td>1,000</td></tr> </table>		共済費	2	賃金	380	報償費	49	旅費	61	需用費	87	役務費	42	委託料	2,094	使用料及び賃借料	23	工事請負費	7,344	補償	1,000			
	共済費	2																										
賃金	380																											
報償費	49																											
旅費	61																											
需用費	87																											
役務費	42																											
委託料	2,094																											
使用料及び賃借料	23																											
工事請負費	7,344																											
補償	1,000																											
事業の目標・成果(これまでの成果、今後の見通し)	宇陀市内には中世に宇陀三将と呼ばれる澤氏、芳野氏、秋山氏の居城跡があるが、詳細な調査が実施され史跡指定されているのは当該松山城跡だけである。これを宇陀市のシンボルの一つとして活用することにより、宇陀市の活性化に資することを目標とする。 平成18年7月に国史跡指定を受た面積は67,667㎡と広大であり、そのうち総石垣つくりの約22,450㎡の公有化を実施している。整備範囲は公有地化を行った範囲を中心に、城跡への登城道部分を対象としている。 遺構内容・城割りの状況と範囲・石垣等の崩落箇所等の関係等を十分に検討しながら保存整備を進めることで貴重な歴史資料とすることで、登山客が増加している。				財源の内訳 (単位:千円) <table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td>4,500</td></tr> <tr><td>県費</td><td>2,700</td></tr> <tr><td>市債</td><td>2,300</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,582</td></tr> <tr><td>H28予算額</td><td>11,082</td></tr> <tr><td>H27当初予算額</td><td>10,196</td></tr> <tr><td>H27現計予算額</td><td>10,196</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>886</td></tr> </table>		分担金		使用料		国費	4,500	県費	2,700	市債	2,300	その他		一般財源	1,582	H28予算額	11,082	H27当初予算額	10,196	H27現計予算額	10,196	増減額	886
分担金																												
使用料																												
国費	4,500																											
県費	2,700																											
市債	2,300																											
その他																												
一般財源	1,582																											
H28予算額	11,082																											
H27当初予算額	10,196																											
H27現計予算額	10,196																											
増減額	886																											
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況																								
決算額又は決算見込額(千円)	8,754	10,196		史跡宇陀松山城跡保存整備事業費補助金(国) 4,500千円 史跡宇陀松山城跡保存整備事業費補助金(県) 2,700千円 合併特例債 2,300千円																								
従事職員数【人工】	0.50	0.50																										
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000																										
総事業費:人件費含む(千円)	12,754	14,196																										
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																												
活動指標名	整備率																											
活動指標の算式	単年度整備面積/目標整備面積																											
活動指標の実績(見込)	14.8	単位	%	14.8	単位 %																							
単位当たりコスト(円)	861,757		959,189																									
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的・文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備																											

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定史跡宇陀松山城跡の登城道整備事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	平成18年7月に国の史跡指定を受けた「宇陀松山城跡」は、中世の秋山氏の築城に始まり、豊臣政権下では大和郡山城、高取城と並んで大和支配の拠点とされてきた。城跡は近世初頭の城割りと呼ばれる廃城とその時期や内容が一体として把握できる非常に希な事例である。 この城跡へのアクセス道路を新設し、もって当該地域はもとより宇陀市の活性化の一助とすることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	23	史跡宇陀松山城跡整備事業					
根拠条例等	文化財保護法						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H28年度事業の概要	平成28年度は、「松山城線」工事延長L560mの終点部分の整備を実施する。 工事請負費 28,000千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	当該事業により、城跡麓まで車で登ることが可能となり、高齢者や子どもも国指定史跡松山城跡へ登ることが容易になる。 典型的な山城跡を見学する事が容易になる事で、当該松山地域や宇陀市の活性化に繋がる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	26,600	
					その他		
					一般財源	1,400	
					H28予算額	28,000	
					H27当初予算額	80,000	
					H27現計予算額	80,000	
					増減額	▲ 52,000	
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	17,935	80,000	合併特例債 26,600千円				
従事職員数【人工】	0.50	0.50					
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000					
総事業費:人件費含む(千円)	21,935	84,000					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	整備率						
活動指標の算式	単年度整備延長/総整備延長						
活動指標の実績(見込)		単位	30	単位	%		
単位当たりコスト (円)			2,800,000				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	国指定史跡森野旧薬草園保護事業				
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	寛保3年(1743年)、幕府から官園において栽培していた貴重な種苗を下付され、これを植えたことによって、薬園がはじまる。大正15年には、国史跡に指定され、史跡地内には、桃岳庵や石水亭などの建造物も遺存し、薬園としての旧態が良く保たれている。しかし、近年は、周辺部において杉や竹などが繁茂し、環境の悪化が進んでおり、建造物の傷みも著しい。また、薬草畑の一部では、管理が行き届かない場所も認められ、荒廃が進行しつつあるため、当園の適切な保存・管理を行うため、整備計画・管理計画・利活用計画等の検討を行い、保存管理計画を策定する。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	5	社会教育費
					目	4	文化財保護費
細目	26	史跡森野旧薬園整備事業費					
根拠条例等	文化財保護法						
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用						
H28年度事業の概要	奈良県教育委員会・専門家・関係者等によって「史跡森野旧薬園保存・管理計画策定委員会」を組織し、史跡森野旧薬園の整備計画・管理計画・利活用計画の策定を行う。 事業は、宇陀市教育委員会が担当するが、史跡森野旧薬園の現状調査及び保存管理計画の策定業務は、専門業者に委託する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
		使用料					
		国費	1,700				
		県費	510				
		市債					
		その他					
		一般財源	1,193				
		H28予算額	3,403				
		H27 当初予算額	3,302				
		H27 現計予算額	3,302				
		増減額	101				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	国史跡森野旧薬園の保全と活用を図るため、国史跡森野旧薬園の保存・管理計画を策定することにより、適正な保存整備・活用事業を行うことが出来る。 保存・管理計画策定後は、これを基に保存整備事業を行い、史跡の保全と活用を図る。				特定財源の状況		
					史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金(国) 1,700千円 史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金(県) 510千円		
					史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金(国) 1,700千円 史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金(県) 510千円		
					史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金(国) 1,700千円 史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金(県) 510千円		
					史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金(国) 1,700千円 史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金(県) 510千円		
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)					
決算額又は決算見込額(千円)		3,302					
従事職員数【人工】		0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800					
総事業費:人件費含む(千円)		4,102					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	整備計画進捗率						
活動指標の算式	計画書進捗率/保存管理全体計画率						
活動指標の実績(見込)		単位	50	単位	%		
単位当たりコスト (円)			82,040				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的・文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	街なみ環境整備事業															
所管課	604	文化財課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算													
事業の目的	街なみ環境整備事業は、宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存地区を包含し、街なみ環境整備事業実施区域において、質の高い歴史的な街なみとして景観を保存するとともに、そこに暮らす人々が住みやすい住環境を整備するという事業目的を持っている。				区分	No.	区分名											
					款	9	教育費											
					項	5	社会教育費											
					目	6	街なみ環境整備事業費											
細目	20	街なみ環境整備事業費																
根拠条例等	国土交通省 街なみ環境整備事業制度要綱																	
総合計画	基本計画 第5章 第3節 歴史・文化資源の保全と活用																	
H28年度事業の概要	平成28年度は、松山通り3工区L=300mの道路美装化・街路灯の整備事業の実施。				財源の内訳 (単位:千円)													
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">(千円)</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>224</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>2</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>331</td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td>57,500</td></tr> <tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>15,100</td></tr> </table>				(千円)		需用費	224	役務費	2	使用料及び賃借料	331	工事請負費	57,500	負担金、補助及び交付金	15,100	分担金	
(千円)																		
需用費	224																	
役務費	2																	
使用料及び賃借料	331																	
工事請負費	57,500																	
負担金、補助及び交付金	15,100																	
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	街なみ環境整備地区である宇陀松山地区は城下町に端を発する商家町である。街なみ環境整備事業のみならず、重要伝統的建造物群保存地区や宇陀松山城跡等を一体的事業と位置づけて事業展開を進めることにより、空き家の増加により低下している「まち」の活力を取り戻すことを目標とする。 松山街なみ環境整備事業実施区域にあつては、古くから受け継がれてきた民家が密集し、事業実施区域のおよそ半分が国の宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。 この事業地区において、平成13年度から事業を実施し、道路の美装化をはじめ、まちづくりセンター「千軒舎」、まちなみギャラリー「石景庵」などの生活環境施設の整備を行っており、当該地区の都市景観は、「歴史的町並み」と呼ぶに相応しいものとなりつつある。				使用料													
					国費	36,250												
					県費													
					市債	35,600												
					その他													
					一般財源	1,307												
					H28予算額	73,157												
					H27当初予算額	81,427												
H27現計予算額	81,427																	
増減額	▲ 8,270																	
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況														
決算額又は決算見込額(千円)	41,716	81,427		街なみ環境整備事業費補助金 36,250千円 合併特例債 35,600千円														
従事職員数【人工】	1.00	1.00																
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000																
総事業費:人件費含む(千円)	49,716	89,427																
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																		
活動指標名	整備率																	
活動指標の算式	単年度整備率/全体整備率																	
活動指標の実績(見込)	80.0	単位	%	91.4	単位	%												
単位当たりコスト (円)	621,450		978,414															
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的・文化的資産の活用] (3)歴史的・文化的資源の保存整備																	

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ツアーオブ奈良まほろば開催負担金				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	奈良県南部東部振興のため、サイクリングイベントを奈良県スポーツ振興課が事務局となり実行委員会を組織して開催するための負担金を支出する。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	6	保健体育費
					目	1	保健体育総務費
細目	1	本庁保健体育総務費					
根拠条例等	宇陀市スポーツ推進委員の職務に関する規則						
総合計画	基本計画 第4章 第5節 スポーツ・レクリエーションの充実						
H28年度事業の概要	(予定) ○ふれあいサイクルカーニバル ・スポーツ車、タンDEM車の試乗体験 ・各種イベント開催 ○サイクリングツアー ・30~90kmコースのサイクリング				財源の内訳 (単位:千円)		
	宇陀市の資源(人・食・産業・観光等)を活用した参加者への「おもてなし」を通じ、イベント終了後に、参加者がリピーターとして訪れていただくことができるよう、積極的に市のPRを行う。				分担金		
使用料							
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	300	
					H28予算額	300	
					H27当初予算額	300	
H27現計予算額	300						
増減額							
事業のコスト			平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			300	300			
従事職員数【人工】			0.03	0.03			
人件費(人工×8,000千円)			240	240			
総事業費:人件費含む(千円)			540	540			
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名			参加者				
活動指標の算式			-				
活動指標の実績(見込)			677	単位	人	備考	
単位当たりコスト (円)			798		860		
			628	単位	人	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (6)スポーツ大会誘致等によるスポーツツーリズム推進のまち	

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀シティマラソン実行委員会補助金事業				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀の豊かな自然の中で、参加者の健康維持・増進を目指し、参加者相互の親睦と交流を深めると共に、市の活性化と青少年の健全な育成を目指す。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	6	保健体育費
					目	1	保健体育総務費
細目	1	本庁保健体育総務費					
根拠条例等	宇陀市社会体育振興事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第4章 第5節 スポーツ・レクリエーションの充実						
H28年度事業の概要	実行委員会補助金 2,300千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	参加選手やボランティアスタッフ(約450名)が、「走ろう宇陀!ふれあう心」をスローガンに、本大会を通じて、互いの親睦を図り、市の一体感を醸成していくと共に、市外また全国より多数の参加選手を迎え、市総合計画「まちづくり基本方針」において掲げられている「交流人口の増加」にも貢献していくことを目標とする。さらにウェルネスシティ宇陀市の実現を目指すことも目標とする。 第7回宇陀シティマラソン(H26年度) 3月8日(日)開催 参加申込者数(定員1,500人) 1,793名 (宇陀市民517名・市外1,276名) 宇陀市特産品販売 市郡内温泉のPR(手湯・施設利用割引券) 市内観光パンフレットの配布 元気汁(豚汁)の無料ふるまい 榛原中学校マーチング				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源					2,300		
H28予算額					2,300		
H27当初予算額	1,600						
H27現計予算額	1,600						
増減額	700						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	1,600	1,600					
従事職員数【人工】	1.00	1.00					
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)	9,600	9,600					
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	参加者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	1,700	単位	人	1,700	単位	人	
単位当たりコスト(円)	5,647			5,647			
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (6)スポーツ大会誘致等によるスポーツツーリズム推進のまち						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	近畿高校総体事業				
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	教育活動の一環として、高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図ると共に生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成する。近畿高校総体を実施することで、スポーツを基軸にした奈良県東部振興を図る。				区分	No.	区分名
					款	9	教育費
					項	6	保健体育費
					目	1	保健体育総務費
細目	3	全国高校総体事業費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第4章 第5節 スポーツ・レクリエーションの充実						
H28年度事業の概要	近畿総体(自転車ロードレース) 必要消耗品の購入と記録計測費用の負担 534千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し) 近畿総体については、将来にわたり継続的に実施し、インターハイのみならず、社会人大会や、よりグレードの高い大会を実施し、全国に自転車競技は奈良県宇陀市と知られることを目標とする。 スポーツの振興によりウェルネスシティの一翼を担う。 奈良県東部振興に寄与する。				分担金		
使用料							
		国費					
		県費					
		市債					
		その他					
		一般財源	534				
		H28予算額	534				
		H27 当初予算額	4,628				
		H27 現計予算額	4,628				
		増減額	▲ 4,094				
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		4,628					
従事職員数【人工】		0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		6,228					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	競技参加生徒数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)		単位	147	単位	人	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (6)スポーツ大会誘致等によるスポーツツーリズム推進のまち	
単位当たりコスト (円)			42,367				

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大人のための運動教室事業																								
所管課	602	生涯学習課	(教育委員会事務局)																								
事業の目的 運動を始めたいと思ってる人、又は運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に関することで運動の習慣化へとつなげていく。			宇陀市一般会計予算																								
			区分	No.	区分名																						
			款	9	教育費																						
			項	6	保健体育費																						
			目	2	体育施設費																						
細目	4	ウェルネスシティ推進費																									
根拠条例等																											
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進																										
H28年度事業の概要	(千円) <table border="1"> <tr> <td>講師謝礼</td> <td>2,184</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,298</td> </tr> </table>			講師謝礼	2,184	消耗品費	114	計	2,298	財源の内訳 (単位:千円)																	
	講師謝礼	2,184																									
消耗品費	114																										
計	2,298																										
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	運動を始めたいと思ってる人、又は運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に関することで運動の習慣化へとつなげていく。 アクアエクササイズ リラックスヨガ 膝・腰機能改善ウォーキング 大人運動(基礎) エアロ&ボクササイズ ピラティス			<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,131</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>H28予算額</td> <td>2,298</td> </tr> <tr> <td>H27 当初予算額</td> <td>1,416</td> </tr> <tr> <td>H27 現計予算額</td> <td>1,416</td> </tr> <tr> <td>増減額</td> <td>882</td> </tr> </table>		分担金		使用料		国費		県費		市債		その他	2,131	一般財源	167	H28予算額	2,298	H27 当初予算額	1,416	H27 現計予算額	1,416	増減額	882
分担金																											
使用料																											
国費																											
県費																											
市債																											
その他	2,131																										
一般財源	167																										
H28予算額	2,298																										
H27 当初予算額	1,416																										
H27 現計予算額	1,416																										
増減額	882																										
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況																							
決算額又は決算見込額(千円)	1,345	1,416		社会福祉費雑入 2,131千円																							
従事職員数【人工】	0.10	0.10																									
人件費(人工×8,000千円)	800	800																									
総事業費:人件費含む(千円)	2,145	2,216																									
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																											
活動指標名	開催回数																										
活動指標の算式	-																										
活動指標の実績(見込)	118	単位	回	185	単位 回																						
単位当たりコスト (円)	18,178		11,978																								
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウェルネスシティ”推進事業																										